

親子ふれあい遊びで楽しいひととき



▲子どもたちが大好きなキャラクターのバッグを手作り

苫小牧市の子育て支援センター（本幸町1）で11日、「親子ふれあい遊び」が行われ、19組の親子が参加しました。

この日は、オレンジ色のクリアファイルを使ったアンパンマンのバッグ作りを体験。小さな子どもを連れた母親たちは、おしゃべりや情報交換などを楽しみながら、バッグを仕上げました。

製作後は、同センターの梁田敦子さんと一緒に絵本や遊び歌などを親子で楽しみました。

来月の親子ふれあい遊びは6月13日で、手作りおもちゃを予定。開催の情報は、「広報とまこまい」で掲載しているそうです。



▲遊び歌を楽しむ親子

いきいきひろば

糸井の森パークゴルフで 7月 読売杯パークゴルフ大会



▶「魅力あるコースで大会を楽しもう」と話す愛好家の皆さん

第27回読売新聞社杯パークゴルフ道南大会（道南読売会苫小牧支部主催）が7月21日、糸井465の糸井の森パークゴルフ（白岩千年代表）で開催。参加者を募集しています。

毎年市内外のパークゴルフ愛好家から注目されている歴史ある大会。36ホールのスロークプレーで男子は上位15位まで、女子は上位10位まで表彰されます。ラッキー賞もあり、各賞にもれた参加者にも参加賞を用意しています。

5月10日にプレーを楽しんだしらかば町の80代の男性は、「ここは芝の手入れが良く、起伏も楽しくてお気に入りのコースです」と同パークゴルフ場の魅力を語りました。

大会は午前8時から受付を開始し、開会式は同8時半。参加費は1,000円（昼食なし）で、申し込み締め切りは7月19日。問い合わせ、申し込みは糸井の森パークゴルフ（☎0144-76-7237）へ。

体を動かして生活習慣病を予防



▲水分補給をしながら45分間びっしり運動

白老町が生活習慣病の予防を目的に開いている「いきいき体操教室」が5年目に入りました。

ヨガやピラティスの教室「STUDIO Yachi」(苫小牧市糸井147)を主宰する山下千鶴さんを講師に、音楽と山下さんの掛け声に合わせて45分間運動します。

「先生についていこう」と一息懸命体を動かしています。汗びっしょりになるのが気持ちいいですね」と話す山田瑞恵子さん(76)をはじめ、参加者は「教室に通うようになって、普段の生活でもできるだけ体を動かそうと意識するようになりました」と声をそろえます。

山下さんは「生活習慣病だけではなく、手足を別々に動かすことで認知症予防の運動にもなります。月単位で気軽に参加できるので、一緒に汗を流しませんか？」と話していました。

開催は月3回でいずれも木曜日。会場は町総合保健福祉センターいきいき4(東町4)、会費は月2,000円。参加希望者は山下さん(☎090・152・0659)へ。

市長旗争奪兼大東開発杯争奪少年野球 沼ノ端ジェッツが優勝

第44回苫小牧市長旗争奪兼第8回大東開発杯争奪少年野球大会が4～6日にとましまスタジアム(苫小牧市清水町3)で行われ、決勝戦で沼ノ端ジェッツが苫小牧東タイガースを10対9で下し、頂点に輝きました。

苫小牧と白老の18チームによる、今季初の公式戦。決勝ではあいにくの雨に見舞われる中、球児たちは力の限りを尽くし好プレーを見せました。沼ノ端ジェッツは初回に2点を先行、3回にも3点を追加しましたが、6回で苫小牧東が同点に追いついたという手に汗握る展開に。特別延長の7回、沼ノ端ジェッツが勝ち越し点を決めました。

完投したエース河村大也くん(ウトナイ小6年)は、「最終回で急にストライクが入らなくなった時があったけど、最後は力を振り絞って投げた。優勝できてうれしい」と満面の笑顔。捕手の堀峻輔主将(同)も「チームの強い団結力が勝ちにつながったと思います。今シーズン、一つでも多く優勝したい」と瞳を輝かせました。中村恵二監督は「雨の日も練習したことが実を結んだ。選手たちの頑張りが伝わった試合でした」と選手たちをたたえました。



▲優勝に輝いた沼ノ端ジェッツ